

The 39th Annual Meeting of Japanese Society of Implantable Port Assisted Treatment

第39回 リザーバー研究会

プログラム・抄録集

当番世話人： **末吉 智** ゲートタワーIGTクリニック／奈良県立医科大学 放射線医学教室

会 期： **2014年 9月5日[金] ▶ 6日[土]**

会 場： **奈良ホテル** 〒630-8301 奈良市高畑町1096 TEL: 0742-26-3300

奈良

「Discover Tomorrow」

目 次

代表世話人からのご挨拶	2
当番世話人からのご挨拶	3
交通のご案内・会場のご案内	4
日程表	6
参加者へのご案内	7
座長・発表者へのご案内	9

プログラム	13
-------------	----

演題抄録

一般演題Ⅰ	21
一般演題Ⅱ	26
一般演題Ⅲ	31
一般演題Ⅳ	35
一般演題Ⅴ	40
一般演題Ⅵ	44
一般演題Ⅶ	49
一般演題Ⅷ	54

共催企業・協賛企業・医薬 & 機器展示企業一覧	59
-------------------------------	----

代表世話人からのご挨拶

リザーバー研究会 代表世話人

国立がん研究センター中央病院 荒井 保明

ご挨拶

最初のリザーバー研究会の開催は1986年、すなわち29年前に遡る。単一のデバイスの研究会としては、破格の息の長さである。さては、異常な偏執狂集団かということ、そうでもない。一生懸命動注をやっていたかと思いきや、FOLFOX登場時にはあっさりとFOLFOXを外来で行なうためのフォローに回るなど、案外腰が軽い。この「こだわらない」というのが、案外この研究会の特徴なのかもしれない。

多段階発がんの機序が判って発がん機序が解明されると思いきや、逆に益々複雑な発がんメカニズムが判ってきたし、全ゲノム解析完了で疾患の原因が解明されるかと思ったら、疾病とゲノムの間には遥かに複雑な関係のあることが判ってきている。われわれの知識などほんの僅かで、生物現象はまず畏怖の念をもつことが大切らしい。医学は未だ羅針盤と観天望気で未知の海を航海しているようなもののようなのだ。ひとつの物差しにこだわらず、限られた知識に感性や経験を駆使して、柔軟かつ敏捷に対応することが大切なのだと思う。

エビデンスは現代医学の根幹を成す概念だが、そのように考えてみると、われわれが今持っているエビデンスなど真理のほんの一角を示しているに過ぎない。それを知らずに、「あなたにはもう治療法はありません」と平気で言っているエビデンス原理主義者は、人としての感性や生物現象に対する畏怖の念が欠落しているように思われる。エビデンスに軸足を置きながらも、生物現象としての病に畏怖の念を持ちながら柔軟に対応することを忘れるべきではない。

さて、29年目、そして39回目のリザーバー研究会も、これまで同様、どう展開するのか全く予想がつかない。しかし、これこそがリザーバー研究会の真骨頂である。人に対する真摯な姿勢、生物現象に対する畏怖の念を忘れず、素直に、自由に、そして、いつものように「こだわらない」ディスカッションが行なわれることを願って止まない。当番世話人 末吉 智先生企画のもと、古都、奈良の地で、参加者一同、大いに頭と心をリフレッシュして頂ければ、と思う。

🐾 当番世話人からのご挨拶 🐾

第 39 回リザーバー研究会 当番世話人

ゲートタワー IGT クリニック / 奈良県立医科大学 末吉 智

この度、第 39 回リザーバー研究会を 2014 年 9 月 5 日（金）～ 6 日（土）の 2 日間にわたり、奈良ホテルで開催させていただくこととなりました。

奈良では 2005 年 3 月に奈良県立三室病院 阪口 浩先生が第 28 回リザーバー研究会を開催されて以来 9 年ぶりとなります。残念ながら動注リザーバーの件数はその当時より減少しておりますが、難治性肝細胞癌においては有力な治療法の一つであることには変わりありません。ちょうど 1 年前の昨年 9 月 7 日に 2020 年夏季オリンピック開催地の投票があり、その際の東京のスローガンが「Discover tomorrow」でした。我々が日常で診療をしている“難治性癌治療” “がん患者さんの生きる希望” “リザーバー治療の未来”といったことに置き換えると、『Discover Tomorrow』という言葉はリザーバー研究会のテーマとしてぴったりだと思い、今回のテーマとさせていただきました。今回は門脈腫瘍栓をはじめとした難治性肝癌治療においてリザーバー療法が生き残るために、新しい各種治療とのコラボレーションを含めたシンポジウム『難治性肝癌治療における Discover Tomorrow』を企画しました。さらに、メディカルスタッフに企画頂いたシンポジウム『Discover Tomorrow CV ポート 看護師の新たな試み』では看護師の立場からみたリザーバー治療について、ご講演いただく予定となっております。

今回の会場となる奈良ホテルは 1909 年に『関西の迎賓館』として奈良公園内に誕生したクラシックホテルです。一見ホテルとは思えない佇まいで奈良公園の雰囲気完全に溶け込んでおります。また、研究会当日は“ライトアッププロムナード・なら 2014”が開催中であり、奈良ホテル周囲の興福寺・春日大社・猿沢の池・東大寺などがライトアップされ、より幻想的な古都奈良を満喫していただけたらと思っております。まだまだ暑い日が続きますが、当日に古都奈良でお会いできることを楽しみにしております。

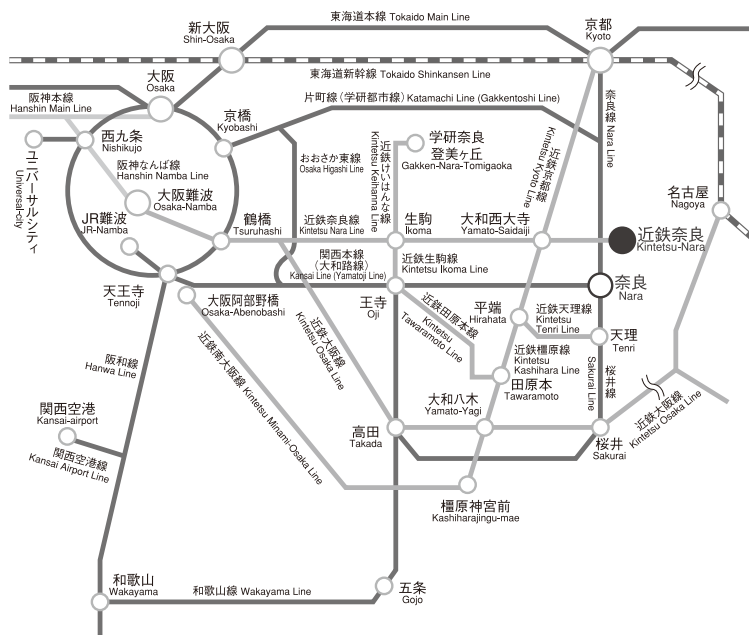
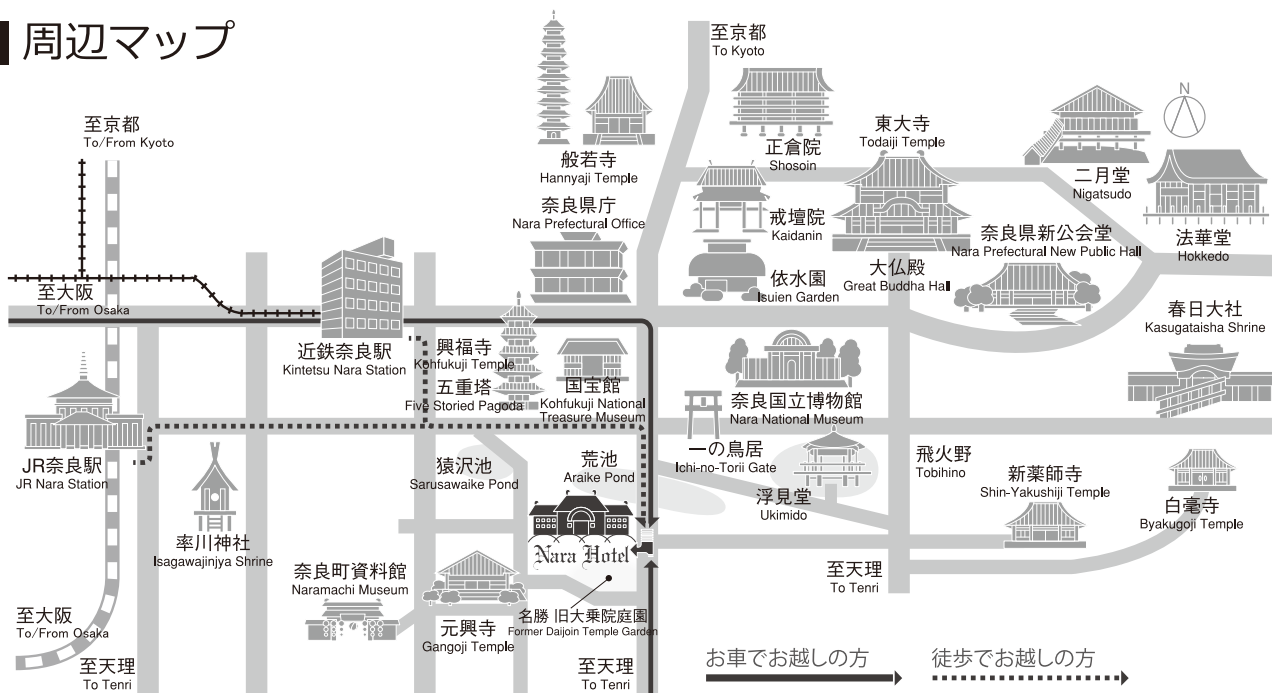
平成 26 年 8 月吉日



交通のご案内

会場 奈良ホテル 0742-26-3300 (代)〒630-8301 奈良市高畑町 1096

周辺マップ



アクセス

JR線 JR Line
 近鉄線 Kintetsu Line
 阪神線 Hanshin Line
 新幹線 Shinkansen

〈奈良へのアクセス〉

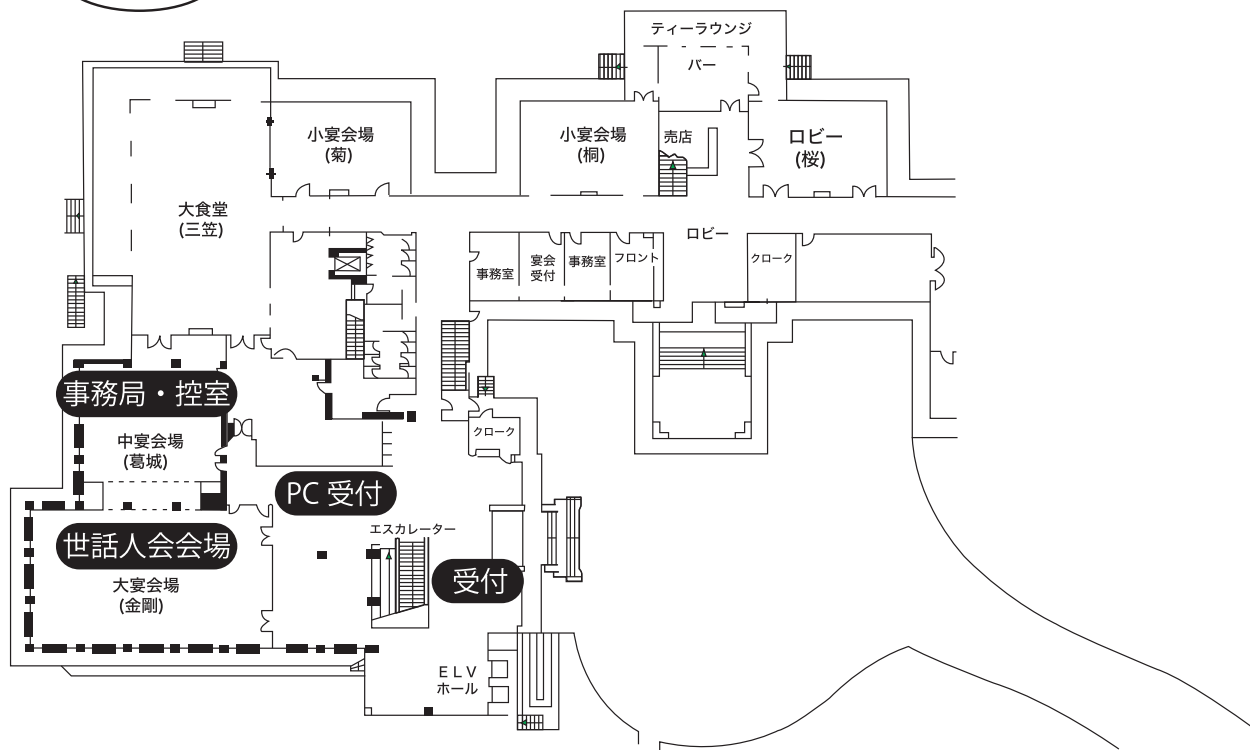
「京都駅」より	JRで約45分 近鉄特急で約35分
「新大阪駅」より	JRで約55分 (大阪にて乗換え)
「大阪駅」より	JRで約50分
「難波駅」より	JR区間快速で約40分 近鉄快速急行で約40分

交通のご案内

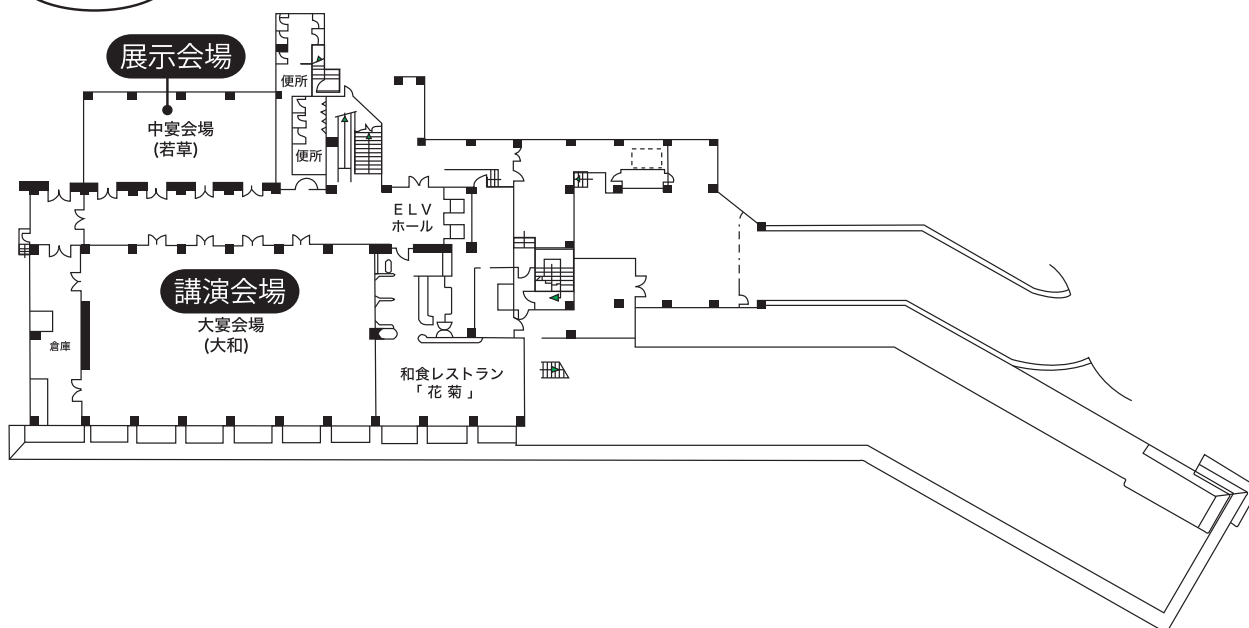
- 徒歩
 - ・JR奈良駅より約25分・近鉄奈良駅より約15分
- 路線バス(天理方面行)
 - ・JR奈良駅より約10分・近鉄奈良駅より約8分
- タクシーで
 - ・JR奈良駅より約8分・近鉄奈良駅より約5分
- お車で
 - ・天理方面より…西名阪自動車道 天理ICより北 約7km
 - ・大阪、京都方面より…「県庁東交差点」より南 約0.6km
 - ・関西国際空港より約90分

🐾 会場のご案内 🐾

1F



B1F



日程表

平成 26 年 (2014 年) 9 月 5 日 (金)	
大和の間	
8:00	
8:30	
9:00	9:00 ~ 受付開始
9:30	
10:00	10:00 ~ 10:10 開会の挨拶
	10:10 ~ 11:00
10:30	一般演題Ⅰ 「肝動注リザーバー ～肝細胞癌～」
11:00	11:05 ~ 11:55
11:30	一般演題Ⅱ 「肝動注リザーバー ～転移性肝がん～」
12:00	12:00 ~ 13:00 共催ランチョンセミナーⅠ 「肝動脈塞栓療法と球状ビーズの現況」 演者：大須賀 慶悟 (大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学講座)
12:30	
13:00	13:05 ~ 14:35
13:30	シンポジウムⅠ 「難治性肝癌治療における” Discover tomorrow”」
14:00	
14:30	
15:00	14:45 ~ 15:25 一般演題Ⅲ 「他領域のリザーバー」
15:30	15:30 ~ 16:20
16:00	一般演題Ⅳ 「動注リザーバー ～留置技術～」
16:30	
17:00	
17:30	
17:00	
17:30	17:30 ~ 18:00 世話人会
18:00	

平成 26 年 (2014 年) 9 月 6 日 (土)	
大和の間	
8:00	8:00 ~ 受付開始 8:00 ~ 9:00
8:30	共催モーニングセミナー 「再考 肝動注リザーバー ～留置技術と治療成績～」 演者：新横 剛 (静岡県立静岡がんセンター IVR 科)
9:00	9:10 ~ 9:50
9:30	一般演題Ⅴ 「動注リザーバー ～工夫・合併症～」
10:00	10:00 ~ 11:30
10:30	シンポジウムⅡ 「Discover Tomorrow CV ポート 看護の新たな試み」
11:00	
11:30	11:35 ~ 11:50 議事総会
12:00	12:00 ~ 13:00 共催ランチョンセミナーⅡ 「頭頸部癌に対する動注療法の役割と進歩」 演者：不破 信和 (兵庫県立粒子線医療センター 院長)
12:30	
13:00	13:05 ~ 13:55
13:30	一般演題Ⅵ 「中心静脈ポート ～管理・評価～」
14:00	14:00 ~ 14:50
14:30	一般演題Ⅶ 「中心静脈ポート ～合併症・ほか～」
15:00	14:55 ~ 15:35 一般演題Ⅷ 「中心静脈ポート ～看護～」
15:30	15:35 ~ 15:50 閉会挨拶等
16:00	
16:30	
17:00	
17:30	
17:00	
17:30	
18:00	

参加者へのご案内

■ 参加受付

開設場所：奈良ホテル 1F ロビー

開設時間：9月5日（金）9:00～16:00／9月6日（土）8:00～16:00

参加費：医師・医薬・製薬・機器会社 …… 5,000 円

メディカルスタッフ …… 2,000 円

学生 …… 無料（受付にて学生証をご提示ください。）

・参加費と引き換えに参加証（兼 領収証）をお渡しいたします。

・参加証には、ご所属・ご氏名をご記入の上、会期中は見やすい箇所にご着用ください。

■ 研究会事務局受付

開設場所：奈良ホテル 1F ロビー

新入会のお申込み（入会金無料、年会費 3,000 円、プログラム抄録集配布）、年会費のお支払い、並びに各種変更届けは、研究会事務局受付で承ります。

■ プログラム抄録集

一冊 …… 2,000 円（税込み）

■ クローク

開設場所：奈良ホテル 1F ロビー

開設時間：9月5日（金）9:00～20:00／9月6日（土）8:00～16:30

■ 医薬・機器展示

開設場所：奈良ホテル若草の間

開設時間：9月5日（金）9:00～16:00／9月6日（土）8:00～16:00

■ 世話人会

実施場所：奈良ホテル金剛の間

日 時：9月5日（金）17:30～18:00

■ 議事総会

実施場所：奈良ホテル大和の間

日 時：9月6日（土）11:35～11:55



■ シンポジウム

シンポジウムⅠ 難治性肝癌治療における" Discover tomorrow"

(共催 : 日本化薬株式会社)

日 時 : 9月5日 (金) 13:05 ~ 14:35

シンポジウムⅡ Discover Tomorrow CV ポート 看護の新たな試み

日 時 : 9月6日 (土) 10:00 ~ 11:30

■ 共催セミナー

【共催ランチョンセミナーⅠ】 : エーザイ株式会社

日 時 : 9月5日 (金) 12:00 ~ 13:00

座 長 : 荒井 保明 (国立がん研究センター中央病院 院長)

演 者 : 大須賀 慶悟 (大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学講座)

【共催ランチョンセミナーⅡ】 : 東レ株式会社 / 東レ・メディカル株式会社

日 時 : 9月6日 (土) 12:00 ~ 13:00

座 長 : 曽根 美雪 (国立がん研究センター中央病院 放射線診断科)

演 者 : 不破 信和 (兵庫県立粒子線医療センター 院長)

【共催モーニングセミナー】 : テルモクリニカルサプライ株式会社 / 株式会社メディコスヒラタ

日 時 : 9月6日 (土) 8:00 ~ 9:00

座 長 : 末吉 智 (ゲートタワー IGT クリニック)

演 者 : 新槇 剛 (静岡県立静岡がんセンター IVR 科)

座長・発表者へのご案内

■ 座長の方へ

- ご担当いただきますセッションの開始 15 分前迄に、次座長席にお着きください。
- セッションの終了時間を厳守してください。
(一般口演の発表時間は全て 6 分、討論時間は各口演 4 分です)

■ 発表者の方へ

- 一般演題の口演は、発表 6 分、討論 4 分の計 10 分です。
- 発表時間の終了 1 分前に演台上の計時装置が「黄ランプ」に、終了時には「赤ランプ」が点灯します。
- 発表は全て PC プレゼンテーションで、プロジェクターは一面投影です。
- 発表形式は、メディア (USB メモリー、又は CD-R)、またはノート PC のお持ち込みによる発表となります。
- 前演者の発表が始まりましたら、次演者席にお着きください。
- 発表は、演台上のモニター、マウス、もしくはキーボードを発表者ご自身で操作して行ってください。

■ PC 受付

開設場所：奈良ホテル 1F ロビー

開設時間：9 月 5 日 (金) 9:00 ~ 16:00 / 9 月 6 日 (土) 8:00 ~ 15:15

- ご自身の発表セッション開始 30 分前迄に、発表データの受付、試写を行ってください。
- 動画や音声をご使用になる場合は、必ず係に申し出てください。

1) メディアをお持ち込みになる方へ

- 使用できる PC の OS、およびアプリケーションは以下のとおりです。
OS : Windows 7 / アプリケーション : Power Point 2007、2010、2013
- Macintosh でデータを作成された場合は、ご自身の PC をお持ちください。
- Mac 版 Power Point で作成したデータを持ち込まれる場合は、互換性が損なわれる可能性があります。
事前に Windows PC にて文字ズレ等がないか、意図した通りの再生が行われるかをご確認ください。
- お持ち込みになるメディアは、USB メモリー、または CD-R に限ります。
※ CD-R にコピーする時には、ファイナライズ (セッションのクローズ・使用した CD のセッションを閉じる) 作業を行ってください。この作業が行われなかった場合、データを作成した PC 以外でデータを開くことができません。
- 発表に使用する PC は全て XGA (1,024 × 768) に統一してあります。

PC 受付

- 使用フォントは、OS 標準で装備されているものを使用してください。(Windows 7)
- 画面をぎりぎりまで使用すると、再現環境の違いにより、文字や画像のはみ出し等の原因になることがあります。
- 動画データを使用の場合、Windows Media Player で動作する形式をお使いください。リンク切れに ご注意ください。これはデータをメディアにコピーした後、作成した PC 以外の PC で動作確認をお願いします。
また、動画ファイルには、拡張子 (.wmv など) を必ず付けてください。
- コピーした発表データは、発表終了後、責任を持って消去いたします。

2) ノート PC をお持ち込みになる方へ

- お持ち込みになる PC は、Windows 7 以降、Mac は OS X 以上とさせていただきます。

使用するアプリケーションは、Power Point のみです。

- 会場に用意しますプロジェクター接続のコネクター形式は、D-sub15 ピン (ミニ) です。(右図参照)

また、本体付属のコネクターは、必ずご持参ください。

- ノート PC から外部モニターに正しく出力されるか確認してください。

- 画面の解像度は、XGA (1024 × 768) です。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいます。

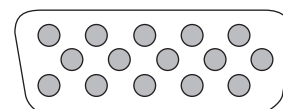
- スクリーンセーバー、並びに省電力設定は、事前に解除しておいてください。

- 不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちください。

- セッション開始 20 分前迄に、会場内の PC オペレーター席まで、PC 本体をご自身でお持ちください。

- 発表後は、PC オペレーター席にて PC をお受け取りください。

パソコン側 (メス)



●は凹型の部分です

🐾 プログラム 9月5日(金) 大和の間 🐾

10:00 ~ 10:10 開会の挨拶

荒井 保明 (リザーバー研究会 代表世話人 / 国立がん研究センター中央病院)

吉川 公彦 (奈良県立医科大学 放射線科・IVR センター)

10:10 ~ 11:00 一般演題Ⅰ 「肝動注リザーバー ～肝細胞癌～」

座長 小尾 俊太郎 (公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器・肝臓内科)

I-01 集学的治療によって4年2ヶ月生存し得た門脈浸潤、胆管浸潤合併肝細胞癌の1例
剣木 憲文 (ゲートタワー IGT クリニック)

I-02 大動脈留置型特殊リザーバー (システム -I) を用いた肝動注化学療法による down staging 後に重粒子線照射を追加し完全寛解が得られた肝細胞癌 Stage IVA の1例
有松 秀敏 (有松内科胃腸科医院)

I-03 肝動注化学療法はネクサバル導入の妨げとなるか？
新槇 剛 (静岡県立静岡がんセンター IVR 科)

I-04 切除不能肝細胞癌に対する modified FP 療法
板野 哲 (いたのクリニック)

I-05 “治癒と長生き” を目指す門脈腫瘍浸潤症例に対する動注化学療法
小尾 俊太郎 (公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器・肝臓内科)

11:05 ~ 11:55 一般演題Ⅱ 「肝動注リザーバー ～転移性肝がん～」

座長 稲葉 吉隆 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部)

II-06 全身化学療法施行後の大腸癌肝転移症例に対する姑息的肝動注療法の検討
森田 吉多佳 (国立病院機構 神戸医療センター 放射線科)

II-07 大動脈留置型特殊リザーバー (システム -I) を用いた分割動注で治療中の肝転移合併 脾頭部癌の2症例
板野 哲 (いたのクリニック)

II-08 肝悪性腫瘍に対する肝動注併用下経皮的凍結療法の初期報告
宮崎 将也 (群馬大学医学部附属病院 放射線部・超音波診療センター)

II-09 胃癌肝転移に対する肝動注治療の肝外増悪予測因子の検討
関 裕史 (新潟県立がんセンター新潟病院 放射線診断科)

II-10 全身化学療法抵抗性大腸がん肝転移に対する Weekly High-Dose 5-FU 動注療法の有効性
石井 裕朗 (国立がん研究センター中央病院)

12:00 ～ 13:00 共催ランチョンセミナー I

(共催 : エーザイ株式会社)

座長 荒井 保明 (国立がん研究センター中央病院 院長)

演者 大須賀 慶悟 (大阪大学大学院医学系研究科 放射線医学講座)

「肝動脈塞栓療法と球状ビーズの現況」

13:05 ～ 14:35

シンポジウム I 「難治性肝癌治療における " Discover tomorrow "」

(共催 : 日本化薬株式会社)

座長 熊田 卓 (大垣市民病院 消化器内科)

阪口 浩 (奈良県西和医療センター 放射線科)

肝細胞癌治療に対する System-I の現状報告

板野 哲 (いたのクリニック)

切除不能肝細胞癌に対する分子標的治療の現状と展望

上嶋 一臣 (近畿大学 消化器内科)

TACE 不応・不能進行肝細胞癌に対するリザーバー肝動注の役割
～ソラフェニブとの比較～

西尾福 英之 (奈良県立医科大学 放射線科・IVR センター)

肝がんに対する粒子線治療

櫻井 英幸 (筑波大学 放射線腫瘍科)

14:35～ 14:45 休憩

14:45 ～ 15:25 一般演題Ⅲ 「他領域のリザーバー」

座長 浜田 弘巳 (社会医療法人 母恋 日鋼記念病院 外科)

Ⅲ-11 脾癌術後補助化学療法としての 5-FU 肝動注療法の有用性についての検討

田中 利洋 (奈良県立医科大学 放射線科・IVR センター)

Ⅲ-12 局所進行乳癌に対する動注放射線併用療法

井上 正義 (奈良県総合医療センター 放射線科)

Ⅲ-13 難治性腹水に対する腹腔リザーバー ー留置手技の工夫とトラブル対処法ー

櫻井 康雄 (手稻溪仁会病院 放射線診断科)

Ⅲ-14 骨盤部軟部組織腫瘍に対する下腹壁動脈経由動注リザーバー留置

新槇 剛 (静岡県立静岡がんセンター IVR 科)

15:30 ～ 16:20 一般演題Ⅳ 「動注リザーバー ～留置技術～」

座長 松枝 清 (がん研有明病院 画像診断部)

IV-15 カテーテル先端固定における Ruby Coil の使用経験

原口 貴史 (聖マリアンナ医科大学東横病院 放射線科 静岡県立静岡がんセンター IVR科)

IV-16 Amplatzer Vascular Plug 先端固定法リザーバー留置術の初期経験

正田 哲也 (奈良県立医科大学 放射線科・IVR センター)

IV-17 肝動注リザーバー留置における血流改変術での AVP 使用の検討

村田 慎一 (愛知がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部)

IV-18 血行動態の変化に呼応し複雑な血流改変術を要した肝動注リザーバー留置の 1 例

千早 啓介 (国立がん研究センター中央病院 放射線診断科)

IV-19 脾癌術後予防肝動注におけるリザーバー留置術の検討ー従来法と coaxial システムの比較ー

橋本 彩 (市立奈良病院 放射線科)

🐾 プログラム 9月6日(土) 大和の間 🐾

8:00 ～ 9:00 共催モーニングセミナー

(共催 : テルモ・クリニカルサプライ株式会社 / 株式会社メディコスヒラタ)

座長 末吉 智 (ゲートタワー IGT クリニック)

演者 新槇 剛 (静岡県立静岡がんセンター IVR 科)

「再考：肝動注リザーバー ～留置技術と治療成績～」

9:10 ～ 9:50 一般演題Ⅴ 「動注リザーバー ～工夫・合併症～」

座長 関 裕史 (新潟県立がんセンター新潟病院 放射線診断科)

V-20 尺骨動脈より挿入した動注リザーバーの一例

別宮 絵美真 (静岡県立静岡がんセンター IVR 科)

V-21 高度腎機能障害を伴う肝転移症例に対してリザーバー CO2-CTA で動注薬剤分布を評価した 1 例

佐藤 健司 (奈良県立医科大学 放射線科・IVR センター)

V-22 動注リザーバーを用いた塞栓術 (Flow-preserved coil embolization) を行った脾頭部癌術後脾動脈仮性瘤の一例

川崎 竜太 (兵庫県立姫路循環器病センター 放射線科)

V-23 肝動脈3本症例に対する血流改変後に肝梗塞を来し重篤な転帰をとった1例

前田 新作 (奈良県立医科大学 放射線科・IVR センター)

9:50 ～ 10:00 休憩

10:00 ～ 11:30

シンポジウムⅡ「Discover Tomorrow CV ポート 看護の新たな試み」

座長 今井 祐子 (静岡県立静岡がんセンター)
中谷 かおる (奈良県西和医療センター 看護部 外来)

ヒューバー針抜き取り補助具の開発 - 看護師間の模擬体験による使用感 -
野瀬 明子 (奈良県立医科大学附属病院)

四国がんセンターにおける CVP 院内認定看護師育成の試み
森 ひろみ (国立病院機構四国がんセンター)

当院における CV ポートの使用方法に関する院内研修について
笹川 良子 (愛知県がんセンター中央病院)

CV ポート看護の均てん化を目指した取り組み
平安 奈美子 (市立伊丹病院)

11:35 ～ 11:50 議事総会

12:00 ～ 13:00 共催ランチョンセミナーⅡ

(共催：東レ株式会社 / 東レ・メディカル株式会社)

座長 曽根 美雪 (国立がんセンター中央病院 放射線診断科)
演者 不破 信和 (兵庫県立粒子線医療センター 院長)

「頭頸部癌に対する動注療法の役割と進歩」

13:05 ～ 13:55 一般演題Ⅵ 「中心静脈ポート ～管理・評価～」

座長 森田 吉多佳 (神戸医療センター 放射線科)

Ⅵ-24 感染と鑑別を要する CV ポート埋め込み部の異物反応
曽根 美雪 (国立がん研究センター中央病院 放射線診断科)

Ⅵ-25 中心静脈ポートを用いた大腸癌化学療法患者における長期的経過の検討
米山 文彦 (名古屋掖済会病院外科)

Ⅵ-26 中心静脈ポート抜去に関する検討
海野 俊之 (公立昭和病院 放射線科)

Ⅵ-27 当院におけるデュークス導入過程と導入後
生口 俊浩 (岡山大学 放射線科)

Ⅵ-28 当院で施行した CV システムチェック症例に関する検討 第2報
川田 紘資 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR 部)

14:00 ～ 14:50 一般演題Ⅶ 「中心静脈ポート ～合併症・ほか～」

座長 生口 俊浩 (岡山大学 放射線科)

VII-29 先生、カテが抜けません！ CV ポート抜去困難例に対するトラブルシューティング
千早 啓介 (国立がん研究センター中央病院 放射線診断科)

VII-30 CVP カテーテル抜去困難の経験
山本 和宏 (大阪医科大 放射線科)

VII-31 経鎖骨下に留置された CVP の 1 症例；縦隔迷入？
山本 和宏 (大阪医科大 放射線科)

VII-32 CV ポート留置後にカテーテル逸脱をきたした 3 例
井隼 孝司 (山陰労災病院 放射線科)

VII-33 内頸静脈アプローチの CV ポート留置時のカテーテル損傷の評価
中山 由衣 (済生会松阪総合病院 放射線科)

14:55 ～ 15:35 一般演題Ⅷ 「中心静脈ポート ～看護～」

座長 井隼 孝司 (山陰労災病院 放射線科)

VIII-34 CV ポートの安全な使用に向けた取り組み ―CV ポートアセスメントシートを活用して―
清水 小百合 (社会医療法人 母恋 日鋼記念病院 化学療法センター)

VIII-35 CVP 穿刺による採血・造影 CT の妥当性と忍容性の評価 ―来院一穿刺を目指して―
西村 美樹 (龍ヶ崎済生会病院・看護部)

VIII-36 在宅化学療法における埋め込み型動注リザーバーから抜針（医療行為）を行う家族の思い
―効果的な心理的サポートに繋げるために―
高橋 加寿美 (奈良県立医科大学附属病院 中央放射線部)

VIII-37 CV ポート相談窓口開設後に寄せられた相談内容の考察と評価
安藤 智子 (国立がん研究センター中央病院 IVR 室)

15:35 ～ 次期当番世話人の挨拶

小尾 俊太郎 (公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器・肝臓内科)

15:40 ～ 閉会の挨拶

末吉 智 (ゲートタワー IGT クリニック)